

施策 141 犯罪に強いまちづくり

【主担当部局：警察本部】

県民の皆さんとめざす姿

さまざまな主体と連携した犯罪抑止活動が展開されるとともに、発生した犯罪が検挙されることで、県民一人ひとりの安全が保たれ、安心して暮らせる、犯罪の起きにくい社会が構築されています。

平成 31 年度末での到達目標

被害者に重大な危害を及ぼす重要犯罪等がさまざまな主体と一体となった犯罪抑止活動、検挙活動により減少しています。

県民指標

目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
刑法犯認知件数		15,178 件 未満		15,178 件 未満		15,178 件 未満
	15,178 件					
目標項目の説明	刑法犯（道路上の交通事故に係る危険運転致死傷、業務上（重）過失致死傷および自動車運転過失致死傷を除く。）について、1 年間に被害の届出や告訴・告発を受理等した件数					
29 年度目標値の考え方	平成 27 年中の刑法犯認知件数は、平成になってから最少となる 15,178 件となり、ピークであった平成 14 年以降、ほぼ一貫して減少していることから、過去の数値に基づいて単純に目標値を設定することは妥当ではないと考え、「平成 27 年の数値」を基準に 1 件でも減少させることを目標にすることとしました。					

活動指標

基本事業	目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
14101 みんなで進める犯罪抑止活動と犯罪被害者等支援の充実・強化（警察本部）	防犯ボランティアの団体数		630 団体		650 団体		690 団体
		610 団体					
14102 犯罪の徹底検挙のための活動強化（警察本部）	重要犯罪の検挙率		70.0% 以上		70.0% 以上		70.0% 以上
		81.3%					
14103 県民の安全を守る活動基盤の整備（警察本部）	交番・駐在所の機能強化数		年 2 か所 以上		年 2 か所 以上		年 2 か所 以上
		2 か所					

現状と課題

- ① 県民の皆さんと連携・協働し、地域の犯罪情勢に即した効果的な犯罪抑止活動や検挙活動に取り組んだ結果、平成 28 年上半期の刑法犯認知件数は、平成以降最少となった昨年から更に減少しました。一方で、県民に強い不安を与える重要犯罪やストーカー・配偶者暴力事案、高齢者を対象とした特殊詐欺の認知件数が増加しています。加えて、六代目山口組と神戸山口組の対立抗争が県民に大きな不安を与えており、依然として犯罪情勢は厳しい状況にあります。
- ② インターネットが日常生活の一部となる中、違法情報・有害情報の拡散に加え、インターネットバンキングに係る不正送金事犯の被害は急増し、サイバー犯罪に関する相談も増加の一途を辿るなど、サイバー空間の脅威が深刻化しています。
- ③ 伊勢志摩サミットは、県民の皆さんのご理解とご協力を得て、その警備を無事終了しましたが、サミット終了後もバングラデシュでは日本人が被害者となる襲撃事件が発生するなど、テロの脅威は依然として厳しく、予断を許さない情勢が続いています。
- ④ このような厳しい治安情勢の中で、県民の皆さんはもとより、国内外の来訪者が安全・安心を実感できるよう、多様な主体と連携・協働した犯罪抑止活動や検挙活動を一層強化する必要があります。

平成 29 年度の取組方向

警察本部

- ① 犯罪に強いまちづくりを推進するため、多様な主体と連携・協働した効果的な犯罪抑止対策を推進するほか、被害者等の安全確保を最優先としたストーカー・配偶者暴力事案対策の強化、高齢者に重点をおいた特殊詐欺被害防止対策の強化等に取り組めます。また、県民に重大な危害を及ぼす重要犯罪・重要窃盗犯に対する検挙活動を強化するほか、暴力団の対立抗争の危険から県民の皆さんを守るため、社会全体での暴力団排除活動の推進、暴力団取締りや警戒活動の強化等に取り組めます。
- ② 深刻化するサイバー空間の脅威に対処するため、最新かつ高度な知見を持つ教育機関や民間事業者、行政機関等と連携し、対処能力の向上を図ります。
- ③ 伊勢志摩サミットの開催地としての国際的な知名度の向上や外国人観光客の増加、今後の大規模な行事の開催等を見据え、伊勢志摩サミットを契機として設立した「テロ対策パートナーシップ」を中核としたテロ対策を持続的に発展させていきます。
- ④ 警察活動を支える基盤を強化するため、地域住民の安全・安心のよりどころである交番・駐在所の施設や警察活動に必要な装備資機材等の整備充実を図ります。

環境生活部

- ⑤ 伊勢志摩サミット開催のレガシー（資産）を引き継ぎ発展させ、かつ、県民の皆さん等さまざまな主体との協創による安全で安心な三重のまちづくりを総合的に推進していくため、平成 28 年度に策定する「犯罪から県民を守るアクションプログラム（仮称）」の着実な実施と防犯意識の普及・啓発に努めます。

主な事業

警察本部

- ① ストーカー・DV被害者等保護対策事業【基本事業名：14101 みんなで進める犯罪抑止活動と犯罪被害者等支援の充実・強化】
予算額：(28) 658千円 → (29) 642千円
事業概要：ストーカー・配偶者暴力事案の認知件数が増加する中、被害者等の安全確保を最優先に対応するとともに、地域精神科医等と連携したストーカー加害者対策を推進し、被害の未然防止・拡大防止を図ります。
- ② 特殊詐欺被害防止対策事業【基本事業名：14101 みんなで進める犯罪抑止活動と犯罪被害者等支援の充実・強化】
予算額：(28) 6,846千円 → (29) 16,603千円
事業概要：特殊詐欺の被害が極めて深刻な情勢にある中、引き続き、県内全小学校と連携した高齢者等への注意喚起を行うとともに、国の交付金を活用し、オペレーターからの架電により県民に直接注意を呼び掛けるコールセンター事業を計画しています。
- ③ (一部新)サイバー犯罪対処能力向上事業【基本事業名：14101 みんなで進める犯罪抑止活動と犯罪被害者等支援の充実・強化】
予算額：(28) 3,091千円 → (29) 5,464千円
事業概要：サイバー空間の脅威が深刻化する中、産学官が連携し、各機関が保有する情報資源等の共有を図り、安全で活力あるサイバー空間を実現させる取組を推進します。
- ④ テロ等対策事業【基本事業名：14101 みんなで進める犯罪抑止活動と犯罪被害者等支援の充実・強化】
予算額：(28) 1,085,638千円 → (29) 7,145千円
事業概要：テロの脅威が依然として厳しい中、伊勢志摩サミットを契機に設立した官民が一体となってテロ対策を推進する「テロ対策パートナーシップ」を持続的に発展させ、テロが起らないまちづくりを実現します。
- ⑤ 警察署庁舎整備事業【基本事業名：14103 県民の安全を守る活動基盤の整備】
予算額：(28) 378,518千円 → (29) 1,921,582千円
事業概要：警察を取り巻く環境変化に対応できる警察署庁舎整備に取り組みます。

環境生活部

- ⑥ (一部新)安全安心まちづくり事業【基本事業名：14101 みんなで進める犯罪抑止活動と犯罪被害者等支援の充実・強化】
予算額：(28) 1,660千円 → (29) 3,975千円
事業概要：県民の皆さん等さまざまな主体との協創による安全で安心な三重のまちづくりを総合的に推進していくため、「犯罪から県民を守るアクションプログラム(仮称)」の具現化に取り組むとともに、地域防犯力の向上を支援する取組をモデル的に実施します。